

商船三井 自動車運搬船「EMERALD ACE」の見学会を実施

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、商船や造船所の見学会などを「船ってサイコ〜」と題し実施し、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、同プロジェクトの一環として、商船三井のご協力のもと、7月17日（月・祝）海の日に東京・晴海ふ頭に於いて開催された「海と日本プロジェクト in 晴海」の機会を捉え、自動車運搬船「EMERALD ACE」の見学会を開催し、抽選にて当選した小中学生の親子約 260 名が参加しました。

参加者は全長約 200m、高さ 45mの巨大な船に乗り込み、初めに自動車の積み付けの実演を目の当たりにし、参加者からは「前後 30cm、左右 10cm に寸分違わない車間距離で自動車を並べる見事な『技』に感動した」など、驚きの声が寄せられました。その後、船長室などを見学し、ブリッジでは海図や船を操縦する計器などを船長・航海士から説明を受けたほか、双眼鏡を通して見る景色に感嘆の声があがりました。また、ラウンジで行われた「船で使う水や電気はどうやって作るのか」といったクイズを交えた機関士からの説明には、参加者らは笑顔で耳を傾け、船で使用する燃料の実物も間近に見て、海運および船員への理解が深まる濃密な時間となりました。



普段見ることのできない船内・船員の様子を知る機会を得て、参加者からは「いろいろな機器に実際に触れることができて楽しかった」「一つの船を動かすためにたくさんの人が関わっていることが分かった」などのコメントが寄せられました。

当協会は引き続き会員会社と連携し、日々の暮らしを支える海運について広く知っていただくための活動を実施してまいります。

